

富士フイルム吉田南工場向けエネルギー供給設備の竣工式について ～国内最大級かつ当社初のBOO事業※1の開始～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、昨日4月9日(月)に、富士フイルム株式会社(以下富士フイルム)吉田南工場向けエネルギー供給設備の竣工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

当社は、富士フイルムより、CO₂排出削減のため燃料の天然ガス化を進める富士フイルムグループの3生産拠点(同社吉田南工場、富士フイルムオプトマテリアルズ株式会社、富士フイルム九州株式会社)へのエネルギー供給事業(電気合計55,000kW※2)を受託し、本年4月1日より、吉田南工場向けに営業運転を開始しております。

同工場へのエネルギー供給の形態は、LNG(液化天然ガス)の調達から、LNGサテライトタンク、高効率型天然ガスエンジンコージェネレーション設備※3などの設置・運転・管理までを当社が全面的に行う、国内最大級かつ当社初のBOO事業となります。

なお、富士フイルム吉田南工場では、燃料の天然ガス化に伴い、同工場の排出量の約15%に相当する年間約1万トン強のCO₂排出の削減が見込まれています。

当社は、エネルギーの多様化が進展する中、「総合エネルギー企業」として、今後ともお客さまの様々なニーズに対応すべく多様なエネルギービジネスを育成・推進してまいります。

以上

※1 「Build Own Operate」の略で、通常のオンサイト事業とは異なり、運転管理まで事業者が実施するオンサイト事業のこと。

※2 2005年6月20日発表時は、富士オプトマテリアルズ向け能力を30,000kWと見込んでいたため、合計で68,000kWであったが、その後、同社との検討の結果、能力を17,000kWに見直し、合計で55,000kWとなった。

※3 天然ガスを燃料として、発電効率の高いガスエンジンやガスタービンにより発電を行ない、その際に発生する排熱を蒸気や温水などで回収し、有効利用する熱電併給システムのこと。

 <竣工式の様子>
<竣工式の様子>